

平成 19 年度 秋期 情報セキュリティアドミニストレータ試験 解答例

午後 試験

問 1

出題趣旨	
IPsec-VPN の設定を通して、IPsec に関する知識だけでなく、セキュリティの基礎技術である暗号やセキュリティプロトコルについての知識を問う。特に、様々な VPN から適切な方式を選択する判断力及び適切に IPsec-VPN を運用する能力を総合的に問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考	
設問 1	a	ア		
	b	カ		
	c	オ		
	d	エ		
	e	キ		
設問 2	ア	意図しない相手との通信		
	イ	データの破壊		
設問 3	FWR1 と FWR2 で、フェーズ 1 の暗号スイートが、少なくとも一つは同じになるように設定を変更することについて、適切に記述していること		解答の要点を示す	
設問 4	(1)	U 研究室とデモルームのいずれにおいても、ユーザ認証といった、VPN に関する PC 上での操作をせずに VPN を利用できることについて、適切に記述していること	解答の要点を示す	
	(2)	公開鍵証明書 IKE 方式と比較したときの メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・公開鍵証明書の発行や失効などの管理が必要ないこと ・TTP から公開鍵証明書を購入しなくてもよいこと 	
		手動鍵管理方式と比較したときの メリット	暗号鍵がセッションごとに更新（生成）されないという安全性の懸念がないこと	

問2

出題趣旨	
<p>情報セキュリティマネジメントの重要な要素の一つである、情報のライフサイクル管理を取り上げ、抑止、予防、検知、回復の観点から実施すべき情報セキュリティ対策を問う。併せてリスク対応を取り上げ、そのうちリスク回避について、正しい考え方を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	a ア	
	b ケ	
	c キ	
	d カ	
	e サ	
設問2	ア USBメモリを袋に入れて封印し、未開封であることを受領時に確認する。	
	イ 送信履歴をチェックして、社外への誤送信の有無を確認する。	
	ウ ・ファックスはメモリへ受信し、係の者が印刷して届ける。 ・受信したファックスの取扱者を定め、その取扱者が名あて人へ届ける。	
	エ ・受信したファックスの授受簿を用意し、受信履歴と照合して確認する。 ・名あて人が受領したファックスと受信履歴を定期的に照合し確認する。	
	オ ・メールの内容を記録し、保存することをアナウンスする。 ・送信済メールの内容を定期的に確認することをあらかじめ周知する。	
設問3	(1) と	
	(2) 暗号化した添付ファイルの内容を確認できない。	
設問4	<ul style="list-style-type: none"> 本社と各営業所にスキャナを設置して紙文書を電子化し、更に暗号化してからメールで送受信する。 紙文書を電子化し、本社と各営業所間をVPN接続してファイル共有サーバで受け渡す。 	

問3

出題趣旨	
<p>電子文書が広く活用されるようになり、その漏えい、改ざん、破壊対策に真剣に取り組まねばならない時期にきている。電子文書はコピーや改ざんが容易なことから、紙とは異なる管理が求められる。本問は、このような管理の実現に必要な知識と問題解決能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	a ウ	
	b ア	
設問2	<ul style="list-style-type: none"> 電子文書登録時にアクセス許可期間を設定できるから アクセス許可期間を過ぎると利用許可証が発行されないから 	
設問3	<ul style="list-style-type: none"> 各電子文書ごとのアクセスを許可する者とその操作権限の見直し 電子文書の管理単位の見直し 電子文書の登録番号の重複調査と付け直し 統合後の事業部の文書管理者の任命 	
設問4	文書管理者がRMサーバに登録された電子文書の属性一覧を定期的に確認する。	
設問5	処理内容 (A) <ul style="list-style-type: none"> 共通鍵の生成 電子文書の暗号化 	
	通知内容 (B) <ul style="list-style-type: none"> 登録番号 生成した共通鍵 	

問4

出題趣旨	
<p>PDCA モデルに基づく情報セキュリティマネジメントシステムの継続的改善手法は、時々刻々と変化する環境下において、組織が有効に機能し続けるための、重要な手法を提供している。</p> <p>本問は、情報セキュリティアドミニストレータとして理解していなければならない、情報セキュリティの継続的改善を主題としている。本問では、設問を通じて、インシデント対応能力、改善策を立案する能力などを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	a 個人を識別されない者による、アカウントの不正利用	
	b パスワードを推測した者による、アカウントの不正利用	
設問2	<ul style="list-style-type: none"> ・残存している退職者のアカウントを停止する。 ・すべてのパスワードを変更し、利用者に通知する。 	
設問3	(1) 調査用紙に記載された数値の根拠	
	(2) 社内規程遵守の不徹底の原因を究明して改善策を立案すること	
	(3) 効果のある対策事例を見いだして改善策に反映させること	
設問4	(1) 正社員以外のアカウント付与に時間がかかっていること	
	(2) 正社員以外にアカウントを付与する場合の承認者を総務部長から各部署の部長に修正すること	